

平成25年度第2回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成25年11月16日（土）午前10時00分～12時00分

2 開催場所 中央図書館2階視聴覚室

3 出席者

（委員）根津委員長 菊地委員 土久委員 奥委員 須賀委員
伏見委員 扇谷委員

（事務局）森田館長 齋藤副館長 加藤副主幹
本多係長 森田副主査

4 議題

（1）報告事項

- ①平成25年度利用統計及び実績について（4月から10月）
- ②決算委員会について
- ③中央図書館開館30周年記念事業について
- ④蔵書点検の結果について
- ⑤その他

5 議事の概要

- ①平成25年度利用統計及び実績について、事務局より報告を行なった。
- ②決算委員会について、事務局より報告を行った。
- ③中央図書館開館30周年記念事業について、事務局より報告を行った。
- ④蔵書点検の結果について、事務局より報告を行った。
- ⑤「司書がすすめる本」及び図書館カルチャーの予定について、事務局より報告を行った。

6 会議経過

- ①平成25年度利用統計及び実績について、事務局より説明を行なった。
その際に表明された意見（質問）は次のとおり。
（質問）リクエストに個人利用とあるが、個人以外のリクエストもあるのか。
（回答）読書会やハンディキャップサービスのリクエストがある。
（質問）図書費は震災前からどのくらい減額になっているのか。
（回答）平成22年度は1億円であったが、25年度は8,300万円となっている。
（意見）資料は図書館の生命線なので回復してもらいたい。
（質問）ブックトーク等の件数が減っているが、これは実施回数が減ったのか、
図書館ではなく学校司書が行うために減少したのか。

(回答) 学校からの申し込みにすべて対応しているわけではなく、1 クラスあたりの年間回数に制限があり、そのための件数の減となっている。

(意見) 個人貸出が減少しているということだが、全国的に見ても浦安は、非常に高い利用を維持しており、サービスも充実している。数字に振り回されず引き続きサービスの充実に努めてほしい。

②決算委員会について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(質問) 浦安市の予算規模の中で図書館費の割合は、他の自治体と比べてはどうか。

(回答) 浦安市は教育費自体も予算の比率が高く、一般会計の 16%以上を占めている。その中で図書館費の割合は高い。図書館概要に予算の割合が掲載されているので参照されたい。

(質問) 3 億円の事業費の中で資料費や運営費の 1 億円は適正か。

(意見) 震災後の浦安市の状況から考えると恵まれている。予算確保のためには、市民ニーズに応えるとともに、生活に即した課題解決への援助など図書館の必要性を説明していく必要がある。

(回答) 3 億強の事業費に加え、職員の人件費を加え、6 億 5 千万円程度の決算額である。6 分の 4 が人にかかわる経費、事業費の 3 分の 1 が資料費であり、人と資料費に予算を費やしている特色がある。

(意見) 浦安の図書館は資料の充実もあるが、開館当初からレファレンスサービスを重視したり、ビジネス支援も先駆けて実践するなど新しいサービスにも積極的に取り組んでいる。市民へのアピールをもっと積極的に行ってもよいと思う。

③中央図書館開館 30 周年記念事業について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(意見) 図書館まつりは大変盛況で、非日常的な空間でよかったと思う。

ブックツリーについては、図書館側から情報を提供するスタンスから、市民から情報を提供してもらう新しい試みであった。今後も展示と連動するなど活用してほしい。

ぬいぐるみおとまり会は、担当者のセンスが光るもので、他の図書館と比べても素晴らしかった。図書館員のセンスの良さがアピールできた。参加した子どもが、夜家族で図書館を話題にするという良い効果もあったと思う。

(回答) ブックツリーによせられた本の紹介文の主なものを、図書館のホームページに掲載することを考えている。

(意見) 子どもたちが喜ぶ企画が多かった。ただ、イベントが盛りだくさんで、

参加できないものもあった。ぬいぐるみおとまり会は子どものいる親にはうれしい企画である。子どもたちが図書館に来るきっかけになるとよい。

(質問) 職員が頑張っていて、その努力が伝わるイベントであった。ぬいぐるみおとまり会は、アメリカがモデルとのことだが、中長期的な図書館のモデルというものはあるのか。

また、今は出版される本の数が多く選ぶのが大変である。図書館の役割として、全体や分野別によく貸出されている本など、本を選ぶきっかけづくりとなる情報発信も進めてもらいたい。

(回答) 文部科学省の指針などを参考とし、地域の実情を結びつけ、図書館運営を行っている。情報発信については、後に報告する司書がすすめる本など、本の紹介を発信している。

(意見) 日本の図書館については、現在中長期のモデルはない。公共図書館は70年代閲覧中心から個人貸出中心への移行が成功したが、現在どのようなモデルを選択するか議論、模索しているところである。生活の課題解決に情報を提供してゆくこともその中の一つである。

(回答) 課題解決については、市民サービスのみでなく、行政部局と図書館が連携して他部署が抱えている課題解決や事業の充実に結びつけていきたいと考えている。

現在、秘書課へ行政の課題となっている分野の本を設置しているが、これもその一環である。直接・間接的に市民に役立つ図書館運営に取り組んでいきたい。

(意見) 浦安の図書館は資料も多いと思うが、目的なく来館した場合、書店では平置きの本があって選びやすい。大人の本も表紙を見せて並べるなどの工夫があると手に取りやすいと思う。

(回答) 棚の制約もあるが、以前に比べ、表紙を見せる努力はしており、本の展示にも力を入れている。引き続き展示や、本の紹介などを進めてゆきたい。

(意見) 低書架上の表紙みせなど、浦安の図書館はかなり取り組んでいると思う。展示スペースの展示は、テーマの選び方、演出など全国的に見てもハイレベルなものである。建物の構造上目立たないのが残念である。

(意見) 展示は良いと思うが、やはり渡り廊下の展示コーナーは目立たない。展示の予定や、過去の展示リストも見ることができるとよい。また、予約の多い資料のリストも提供してもらいたい。

(回答) 予約上位のリストは、OPACやホームページで確認できる。過去の展示リストもレファレンス室で閲覧できる。

(意見) リストがあることが、利用者に知られていないように思う。

(意見) 図書館まつりは親子で参加し楽しませていただいた。半年に1度程度

開催してもらえると良い。

図書館の未来像を考えると電子化の問題は避けられない。その際に児童室にもインターネットが使える環境を整備してほしい。ハロウィンなどについて子どもたちが調べるとき、本の情報だけではなくインターネットにより幅広い情報が得られる。また、交通公園では動物の走る姿や、鳴き声などのみられるソフトの入った端末があり、小さな子どもも盛んに利用している。

また、支援センターは本の置いてあるスペースは畳敷きで、小さい子どもを連れた親御さんにとって使いやすい。図書館はベビーベットの位置も端にあり、小さい子どもを連れた利用者に使いやすい施設への配慮をお願いしたい。

浦安は国際化の意識が高く、小学校でも英語の授業が増えてくる中で、洋書もレベル分けして置かれていると利用しやすいと思う。

(回答) 現在中央図書館の大規模改修に向け検討しているが、機能面についても改善の検討をしてゆきたい。展示スペースや、おはなしの部屋等についても課題として考えていく。

④ 蔵書点検の結果について。事務局より報告を行った。

意見（質問）なし

⑤ 「司書がすすめる本」及び図書館カルチャーの予定について、事務局より報告を行った。

意見（質問）なし

7 傍聴者 0名